



タワーファン 保証書

持込修理

本書は、お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合に、下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に製品と本書をご持参・ご提示いただき、お申し付けください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、エスケイジャパン株式会社にご連絡ください。
 - ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店、またはエスケイジャパン株式会社にご相談ください。
 - ご贈答等で本書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、エスケイジャパン株式会社へご連絡ください。
- 保証期間中でも次の場合には原則として、有料とさせていただきます。
- ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の落下、移動、輸送などによる故障および損傷。
 - お買い上げ後の地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、煙害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
 - 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
 - ホー一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 本書のご提示のない場合。
 - ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.
6. 本書は、盗難、火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはエスケイジャパン株式会社にお問い合わせください。
- ※リサイクル店などによる再販売品については、弊社の責任の範囲ではありません。
- ※保証期間経過後の修理や補修性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

ご販売店様へ：必要事項をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

品番	SKJ-KT33TF		
保証期間	対象部分	期間(お買い上げ日より)	保証の条件
	本体	1年	持込修理
お買い上げ日	年 月 日		
お客様	お名前		様
	ご住所 電話		
販売店	販売店名		印
	ご住所 電話		

※個人情報の取扱いについて

弊社は、お客様の個人情報の保護に関する法律を遵守し、お客さまの個人情報の保護に努めます。
お客様の個人情報は、弊社製品の保証・アフターサービスのために利用し、他の目的には利用いたしません。
お客様の同意なしに第三者への開示・提供を行うことはありません。
弊社は、お客様の個人情報が適切に管理されるよう、業務委託先に対して指示・監督を行うなど十分な注意を払います。

エスケイジャパン株式会社

【ご相談窓口】〒818-0063 福岡県筑紫野市桜台2-23-2
TEL. 092-921-4210
Eメール: skj@qtk.co.jp
電話受付時間 午前9時～午後5時(土・日・祝日を除く)

(A)A15

タワーファン 取扱説明書

品番

SKJ-KT33TF



保証書付(裏表紙)

このたびは、タワーファンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いが不明な場合や、不具合が生じたときにお役立てください。

風量
3段切替

2時間切
タイマー

自動首振



上手に使うって 上手に節電

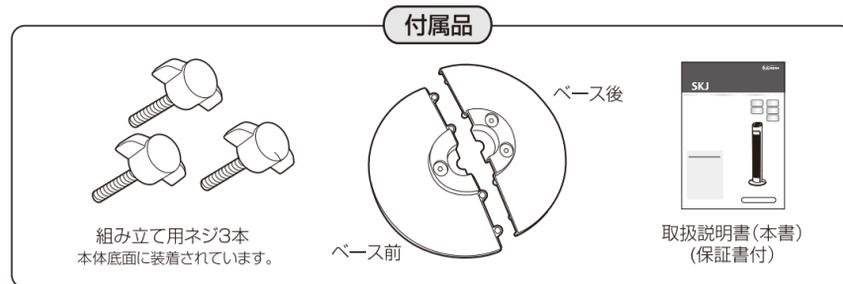
製品は日本国内用に設計されていますので、
国外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

もくじ

まず、付属品の確認を	1
安全上のご注意	1~4
各部のなまえ	5
組み立てかた	6
使いかた	7~8
お手入れと保管について	9
修理サービスを依頼する前に	10
修理サービスについて	10
長期使用製品安全表示	10
保証書	11

(裏表紙)

まず、付属品の確認を



付属品がこわれたり、紛失した場合はお買い上げの販売店までお申し付けください。(有料)

安全上のご注意

必ずお守りください。

※ご使用になる前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

このタワーファンは家庭用です。これ以外の使用は絶対しないでください。
この用途以外（業務用）でのご使用で発生した故障・修理・事故その他の不具合については、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示について

※ここに表示している『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。

『警告』『注意』の2つに大別してお知らせしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告	取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を表示しています。
	注意	取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を表示しています。

表示の例

お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。
(下記はその一例です)

	△記号は、『警告や注意を促す』内容のものです。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)を示しています。
	⊘記号は、してはいけない『禁止』内容のものです。 図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示しています。
	●記号は、必ず実行していただく『強制』内容のものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜く)を示しています。

※本書をお読みに
なった後も、お使
いになるかたが
いつでも見られ
るところに保管
願います。

修理サービスを依頼する前に

■異常が生じたときは、以下の点をお調べになり、それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	おたしかめください
電源を入れても 作動しない	●差し込みプラグをコンセントにしっかりと差し込んでいますか。 ●『タイマー』つまみが『切』になっていませんか。『連続』に合わせてください。 ●本体に布などをかけたりして使用するとヒューズが切れることがあります。
運転中異常音がある	●部品が破損している可能性があります。運転を停止してください。
焦げ臭いにおいがする	●部品が破損している可能性があります。運転を停止してください。

修理サービスについて

よくお読みください

(1)保証書

●この説明書の裏表紙に保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で「販売店・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

(2)修理を依頼される時

●保証期間中でも
保証書のご提示なき場合、有料修理となる場合があります。
●保証期間を過ぎているときは
修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3)補修用性能部品の保有期間

この扇風機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

(4)ご使用中ふだんと変わった状態になったときは

ただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
●お客様御自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。



(5)設計上の標準使用期間について

本機の、設計上の標準使用期間は6年です。
設計上の標準使用期間を超えて使用されると、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。
この年数は下表の標準的な使用条件の中で算出しています。

(6)修理サービスについてご不明な場合

修理サービスや製品についてのご相談は、お買い上げの販売店、またはエスケイジャパン株式会社にご依頼ください。

扇風機の設計標準使用期間の標準的な使用条件(概要)					
環境条件	電圧	100V	設定時間等	1日あたりの使用時間	8(h/日)
	周波数	50Hz/60Hz		1日使用回数	5(回/日)
	温度	30℃		1年間の使用日数	110(日/年)
	湿度	相対湿度65%		スイッチ動作回数	550(回/年)
	設置条件	標準設置		首振運転の割合	100%
負荷条件	定格負荷				

●本機の設計上の標準使用期間は上記使用条件にもとづく。

仕様	種類	タワーファン			
		幅	約225mm	定格電圧	100V
外形寸法	奥行	約225mm	定格周波数	50Hz	60Hz
	高さ	約795mm	定格消費電力	32W	33W
質量		約2.3kg	回転数	約2,310rpm/min	約2,260rpm/min
コードの長さ		約1.8m	風速/風量	約340 m/min/約7.3 m ³ /min	約320 m/min/約6.8 m ³ /min
安全装置		温度ヒューズ	首振角度	約50度	

●製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

愛情点検	長年ご使用の扇風機の点検を! こんな症状がでていませんか?
	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても、ファンが回らない。 ●ファンが回っても、異常に回転が遅かったり不規則。 ●回転するときに異常な音や振動がする。 ●モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。 ●電源コードが折れ曲がったり破損している。 ●電源コードに触れると、ファンが回ったり、回らなったりと不安定。
	<p>以上のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。</p>

お手入れと保管について

お手入れについて



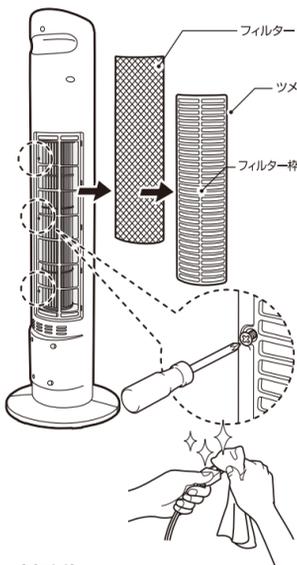
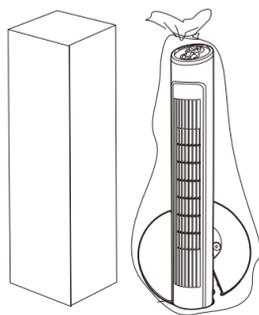
お手入れの際は必ず差込みプラグを抜いてください。
また、濡れた手で抜き差ししないでください。
不意に作動してケガや感電の原因になります。

- お手入れの際は、本体を水につけたり、水をかけないでください。
感電やショート・故障のおそれがあります。
- フィルターのお手入れは、右図を参考にネジをはずし、フィルター枠を少し開きそのまま手前に引くとツメがはずれ、取りはずすことができます。
ホコリを軽くはたき、手で軽く水洗いをして、陰干しをしてください。
フィルターの取りつけはフィルターの形状とフィルター枠の形状が合うようにフィルター枠にあてがい、取りはずしと逆の手順で本体に合わせて正しくに取りつけてネジで確実に固定してください。
(フィルターは必ず取りつけてご使用してください。)
- 本体の汚れは、柔らかい布で空拭きしてください。
汚れがひどい場合は、ぬるま湯か中性洗剤を布に含ませ拭きとっていただくと、汚れが取りやすくなります。
また、中性洗剤を使用した場合は、水を含ませた布で完全に拭き取った後、さらに乾いた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコール、灯油、ベンゾール、みがき粉、アルカリ性洗剤、たわしなどは、塗装面や樹脂部が変色、変質するおそれがあるため使用しないでください。
- 長い時間ご使用になると、差込みプラグとコンセントの間にほこりや水分が付着し、発火(トラッキング現象)するおそれがありますので、差込みプラグを抜き、乾いた布で拭取ってからご使用ください。

長期間経過したものは、安全のため、販売店に点検を依頼してください。(有料)
(本機的设计上の標準使用期間は6年です。)

保管のしかた

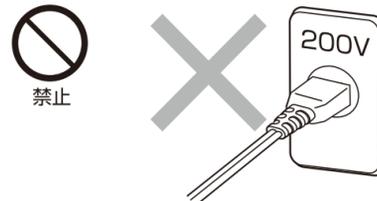
- 本体を袋に入れ、包装ケースまたは、お手持ちの箱に包装してから湿気の少ないところに保管してください。



警告

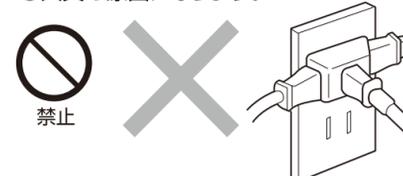
交流100V以外では使用しない。

- 火災・感電の原因になります。



定格15A以上のコンセントを単独で使う。
また、コードはたこ足配線や延長しない。

- 火災の原因になります。



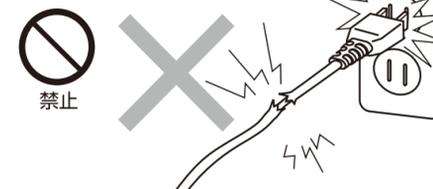
差込みプラグは根元まで確実に差し込む。

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱・発火による火災の原因になります。



コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。また電源コード・差込みプラグが傷んだときは使用しない。

- 感電やショート・発火の原因になります。



ぬれた手で差込みプラグや操作パネルなどをさわらない。

- 感電の原因になります。



電源コードは束ねたり、引っ張ったり、重いものをのせたり、はさみ込んだり、加工したりしない。

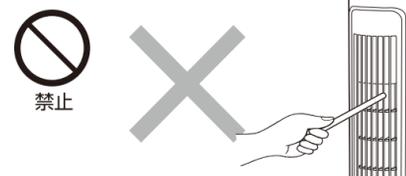
- 電源コードが破損する原因になります。
- 傷んだまま使用すると感電や火災の原因になります。



開口部やすき間にピン・針金などの金属物、異物をいれない。

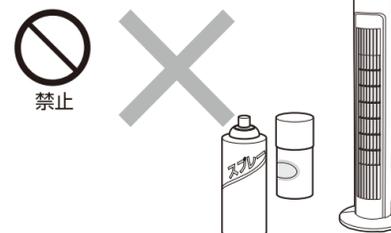
- 高圧電流で非常に危険です。

感電や故障・火災の原因になります。



燃えやすいものや、スプレー缶を本体近くに置かない、使わない。

- 爆発や火災の原因になります。



警告

差込みプラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずにプラグを持って引き抜く。

- 感電やショートして発火することがあります。



強制

お手入れの際は、必ず差込みプラグをコンセントより抜いておく。

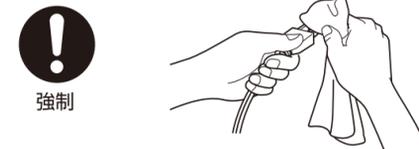
- 感電・ケガの原因になります。



プラグを抜く

差込みプラグのホコリなどは定期的にとる。

- ホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、感電や発熱・発火による火災の原因となります。



強制

改造は絶対しない。また、修理技術者以外の方が分解したり修理しない。

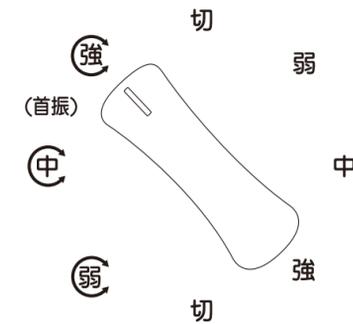
- 火災・感電・ケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。



分解禁止

『首振』のしかた

- 『風量』つまみを（首振）左側の表示に合わせると、左右（約 50°）に首振りと同時に送風を開始します。風量は「強」「中」「弱」の3段階を設定することができます。



運転を全て停止する

- 運転中につまみを『切』に合わせると、全ての運転を停止します。

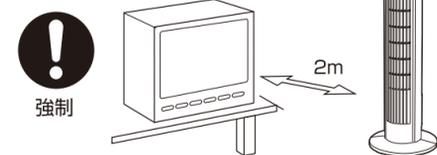
※『風量』つまみは右方向、左方向どちらにも回すことができます。

注意
長時間使用しないときは、安全のために必ず差込みプラグを抜いてください。

注意

テレビ、ラジオ、精密機器のそばには置かない。2m以上あける。

- 受信障害など不具合が出ることがあります。



強制

本体に衣類、タオルやふとんなどをかけて使用しない。また、落ちたものがかかる場所で使用しない。

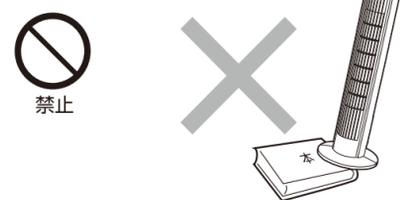
- 故障や火災の原因になります。



禁止

不安定な場所では使用しない。

- 故障や事故の原因になります。



禁止

高温、多湿となる場所（例：バスルーム・炊事場など）では使用しない。

- 漏電や火災の原因になります。
- 故障・寿命低下の原因になります。



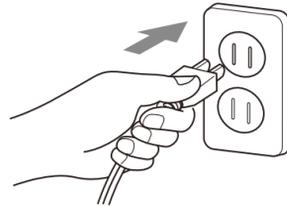
禁止

使いかた

準備

差込みプラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

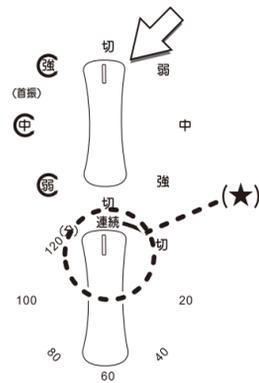
※差込みプラグは必ず本体を立てた状態で、コンセントに差し込んでください。



操作パネル、つまみの使いかた

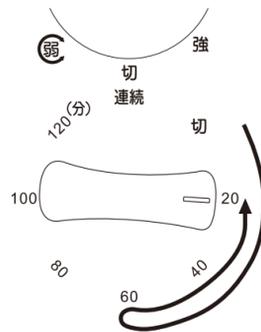
『風量』つまみ

- タイマーつまみが「連続」(★)になっていることを確認してください。
- 「風量」つまみを右側の表示「弱」、「中」または「強」に合わせると、設定の風量で運転が始まります。
- 「切」につまみを合わせると、すべての運転を停止します。



『タイマー』つまみ

- タイマー時間は最大120分(2時間)まで設定できます。「タイマー」つまみを右方向(時計回り)に回して、お好みの時間に合わせてください。「タイマー」つまみが「切」の位置になると自動的に運転を停止します。
- セット時間が30分以内の場合は、一度60分(1時間)以上の位置ぐらまで回してから、ご希望の時間に戻して合わせてください。
- 通常はタイマーつまみを「連続」の位置でご使用ください。



※いったんタイマーを使用した後、「連続」にしたとき「カチカチ」という音がすることがありますが異常ではありません。

注意

異常時(異常音、こげ臭いなど)は、運転を停止して差込みプラグを抜く。

- 異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。



風を長時間、身体にあてない。

- 健康を害するおそれがあります。特に乳幼児、お年寄り、ご病気のかたにはご注意ください。



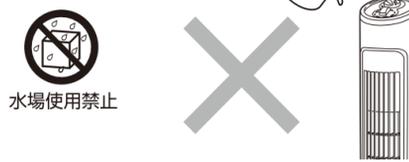
カーテンなどの障害物の近くでは使用しない。

- 破損や事故の原因になります。



本体や操作パネルに水などをかけない。

- 感電やショート・発火の原因になります。



送風口や可動部へ指などを入れない。

- けがをするおそれがあります。
- 特にお子様にご注意ください。



スプレーをかけない。(殺虫剤、整髪料、掃除用など)油や薬品のかかる場所・火気の近くで使用しない。

- 樹脂部や塗装部分に変質したり、破損・火災の原因になります。



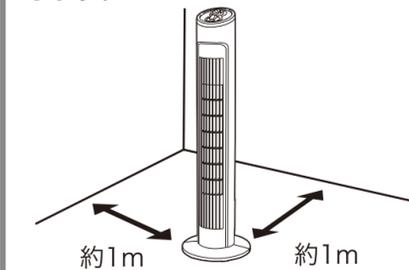
長時間で使用にならないときは、必ず差込みプラグをコンセントから抜いておく。

- 感電や火災の原因になります。



■ 設置場所について

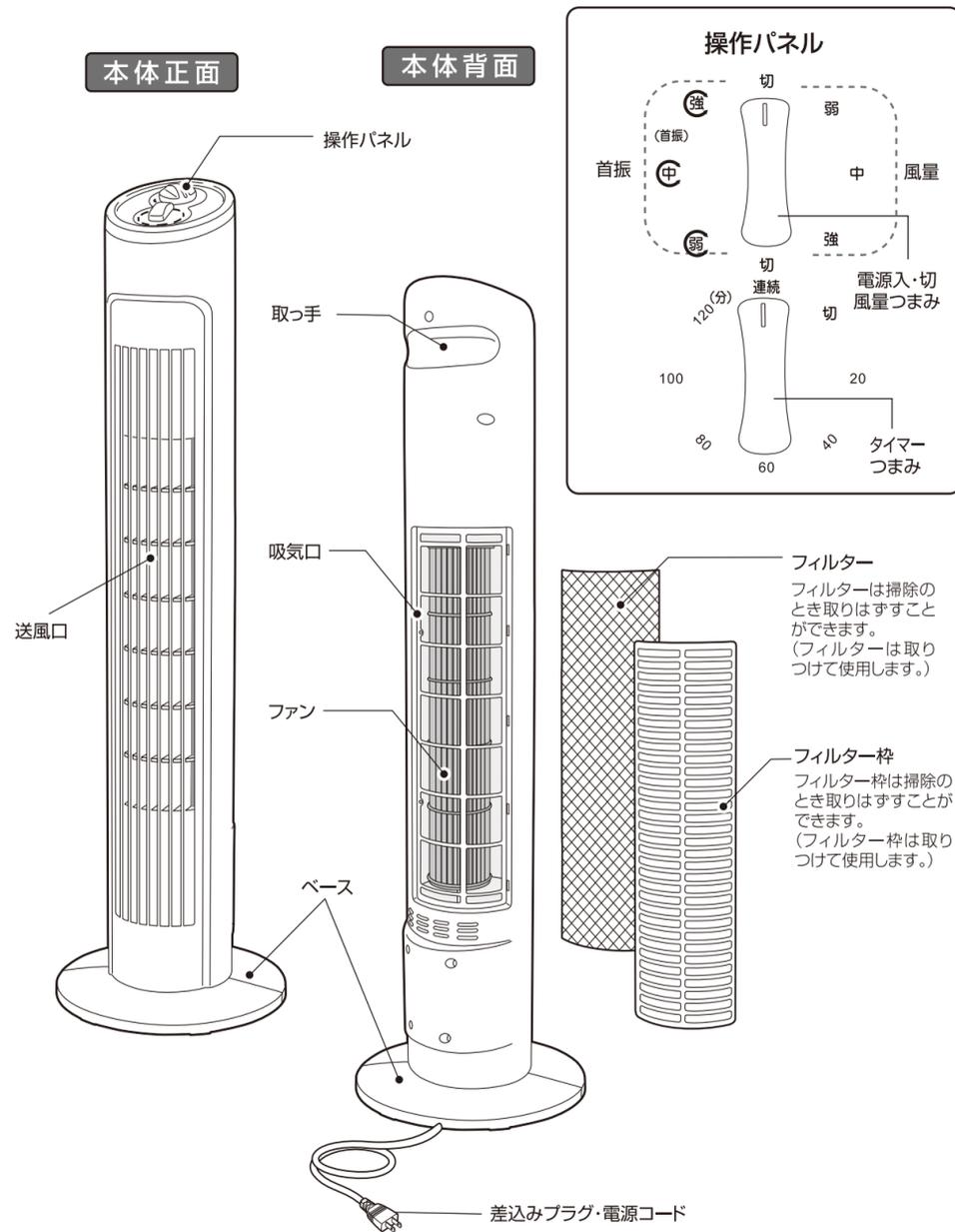
ご使用になるときは、必ず吸気口(背面・側面)側をカーテンや壁などから約1m程離してご使用ください。吸気が充分に行われない場合があります。



バスルーム、洗面所、炊事場など高温、多湿、火気の近く、油のかかる場所での使用はおひかえください。

- 漏電や火災のおそれがあり、寿命の低下、故障の原因になります。

各部のなまえ



※製品は、イラストと少し異なることがあります。

組み立てかた

ご使用前に必ず下記の要領で準備をしてください。
お買い上げ時点のままではご使用になれません。

準備

⚠ 警告

- ❌ 組み立て前、または、組み立て中に差込みプラグをコンセントに差し込まないでください。
●ファンが回りだし、ケガや故障の原因になります。

① しっかりした台などの上に本体を寝かせて置き、本体底面についている付属の「組み立て用ネジ」3本をいったんはずします。

② ベースを組み立てます。
電源コードの差込みプラグをコード通し穴から出しておき、「ベース前」のはめ合わせピンが「ベース後」のはめ合わせ穴に入るように、はめ込みます。

③ ベースを本体に取りつけます。
ベースの取付穴と本体のネジ穴が合うようにベースを本体にはめ込み、「組み立て用ネジ」で、底面から本体にしっかりと取り付けます。(コードをはさみ込まないように注意してください。)

④ 電源コードは、右図のようにベース底面のコード通しミゾに確実に通します。

